

先日、エビデンサーの平塚俊樹さんに偶然お会いする機会がありました。平塚さんは、以前に“LAW(ロウ)より証拠”という本を出版されています。その本を読んだときは興奮して、自分もこんな本を書きたいと皆に話したものでした。そんな平塚さんに予期せずお会いしたときは、憧れの人に会った感動で十分お話できないほどでした。

平塚さんのお仕事“エビデンサー”を知っていますか？日本では「証拠調査士」と訳されることが多く、呼び方は国によって異なりますが、世界 160 カ国で活躍するメジャーな職業です。エビデンサーは、一言でいえば、トラブル予防・対応のコンサルティングをおこなう職業です。もっと詳しく言えば「泣き寝入りしている人を救う」ことが仕事です。具体的には、トラブルや犯罪被害に遭った依頼者のために、弁護士や警察官、裁判官を味方につけるコツを伝授し、各分野の専門家と組んで、問題解決へと導くのです。但し、証拠を集めて闘うのは依頼者本人です。依頼者の望む方向に導く手助けをするのがエビデンサーです。

最近では、“おひとりさまの防犯術—女子必携 これ一冊で泣き寝入りナシ!”という本も出版されました。読ませて頂きましたが、一人暮らしの女性、娘さんを持った親御さんには一読される事をお薦めします。

尚、今後は、当グループの得意とする“専門医が教えるちょっと得するお金の話”の知識も動員して、「泣き寝入りしている人を救う」ことが出来ればと、平塚さんと話が盛り上がっています。

1) LAW の日本語訳を調べてみてください

( )

2) “エビデンサー”の日本語訳は？

( )

3) エビデンサーの仕事を、一言でいえば？

( )

4) エビデンサーの仕事を、詳しく言えば

( )

5) エビデンサーの仕事を、具体的に言えば

( )